

# 令和元年度 市野与進こども園事業報告

令和元年度 4月当初163名でスタート 3月には170名、浜松市が在園児下の子の優先入園方針があることから 市野では13名中8名は入園でき、5名が入園できず令和2度4月入園に変更。(これは保育士不足と乳児室の面積不足による)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月 在園児数	13人	28人	31人	32人	34人 (1号認定2人)	25人	163人
3月 在園児数	21人 8人増	28人	31人	32人	33人 障害児1人転園	25人	170人

問題点を含め事業報告をいたします。①②は当園の事情です その下の①②③はハローワークへ求人募集した時の問題点

- ① 一号認定児を受け入れることで数多くの保育教諭の人的配置が必要になった
- ② 保育教諭の第2子の出産と重なり職員不足が生じてしまった。

ハローワークへ求人募集をするがいろいろな問題点が見えてきた。

- ① 潜在免許保有者は扶養範囲内で働きたい人が多い。
- ② 学卒の求職者が保育現場に応募しない。
- ③ 最近の学卒者には学校経由の応募ではなく人材派遣に登録をしている。

このことは中間報告でもさせて  
いただきました

当園としては人材派遣は極力利用しない方向で考え知り合いを通し、不足分の職員対応を行った。

購入した隣地 駐車場・園庭部分の工事が 1 月完了。駐車場においては行事等近隣に借用する必要もなくなり、園庭も少しずつ有効に利用をしています。

令和元年度の保育テーマ 「子どもの心育ちを大切にす園」「自ら考え行動する子」

重点目標及び重点施策への取り組み

「子どもの心育ちを大切にす園」を最大の課題として

- ① 保育教諭と教育・保育の質の向上

保育中の安全管理体制づくりを第一に考え

{ 保育者自身の行動分析……はできませんでした

ヒヤリハットを通して保育の質の向上……月ごとに園児一人ひとりの

ヒヤリをグラフ化し、行動分析をし、目で見てわかりやすくしました。しかし 分析をしても 治癒するまでに1か月以上重大事故が3件発生し、園児たちの運動能力の低下と危険度察知能力が育っていないことを反省、令和2年度の最大目標として「遊びを通して年齢発達に合わせた運動機能の育ち」「運動機能を伸ばす環境作り」を保育の中に取り入れていきたいと思っております

家庭とともに考える食育環境では……食事のマナーと健康のパロメーター「うんち」の取り組みました。「ウンチ」に関しては職員から保育の中でいろいろな発想とアイデアがでず、実施しているだけで終わってしまった。

0歳児の離乳食にも大きな課題が出てきてしまいました。

若い職員が多いことから離乳食の知識に乏しく、令和2年度には全職員で離乳食の研修を実施していきたいと考えております。

- ② 働き方改革（職員の働きやすい職場づくり・休憩がとれる体制づくり）

休憩をとる(子どもとのノーコンタクト)ことを大前提とし、5人の保育補助を採用した。実際には免許のある2名を8時間勤務とし週3日働いてもらい2名で1名カウントできる働き方に変更し、保育士不足を補った。休憩・保育士の労働軽減には残りの3名で対応を行った。それに合わせ、園の運営状況を徹底的に職員に説明し、職員の意識改革を行った

子育て支援・地域貢献では

(ア) ふれあい遊びを引き続き実施

(イ)	離乳食から始める 「食べる楽しさ」	【 歯科医による口腔から始める離乳食………歯科医との連携が迄整っていない 離乳食講座………離乳食の始まりから完了期まで一連の流れと母親の役割 離乳食教室………手作りの離乳食、おやつ の作り方教室 現状維持で実施
-----	----------------------	---

令和元年度 事業報告

法人の基本方針	概要	事業内容	報告
<p>1. 保育サービスの質の向上</p>	<p>① 新保育指針、認定こども園教育・保育要領、放課後児童クラブ運営指針(以下保育指針等)に沿った保育の実践</p>	<p>★ 保育・保育教諭の質の向上を目指し</p> <p>◇ 子どもの発達過程を踏まえた環境を考える。</p> <p>◇ こども園教育・保育の中心となる子どもの発達を知る</p> <p>★ 保育教諭主導の「させる保育」から子ども自ら「やってみよう保育」へ</p> <p>◇ 園内研修・・・子どもの発達を通して考える教育保育の環境</p> <p>◇ 保育に生かせる自己評価。 子どもの「今」を大切に「子どもの心育て」</p> <p>★ 「食育」計画にそって実践 今年度の目標「家庭を巻き込み楽しいマナーを身につける」</p> <p>★ 保育中の安全対策づくり・・・危機管理のマニュアル</p> <p>◇ 事故防止からくる子どもの育ち分析・・・ (事故報告・ヒヤリハット研修の中で保育の見直し)</p> <p>「教育」</p> <p>◇ 情緒の安定と5感を大切にしながら「挑戦する気持ち」、「意欲」、「体験する楽しさ」を育てる。 (見る→意欲(やってみよう)→真似る(おもしろい)→学ぶ)</p> <p>◇ 3歳以上児の教育・保育テーマ「意欲を持って何にでも挑戦する子を育てる」保育教諭は一人ひとりの関わりを大切にしながら、保育教諭の思いと子どもの思いを絡み合わせ、「明日につながる振り返り」を行う。</p> <p>「養護」</p> <p>◇ 情緒の安定や大人との信頼関係を図りながら、日々心安らかに安心して生活を送る。</p> <p>園の目標にある根底</p> <p>★ 教育・保育(生きる力の基礎づくり・・・)</p> <p>◇ 遊びを通して人としての育ちを大切に、園での教育・保育の在り方をしっかりと認識しながら、 <u>「自分で考え行動のとれる子」の基礎を育てる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わり</li> <li>・自分の思いを言葉にする</li> <li>・集団生活や遊びのルールを守る</li> <li>・相手を思う気持ちを育てる</li> <li>・基本的生活習慣の確立</li> </ul> <p style="text-align: right;">} を育てる</p> <p>★ 人としての基本的マナーを身につける (あいさつ・履物を揃える・自分の持ち物の整理整頓など)</p>	<p>・保育教諭が園児の年齢発達過程をしるための自己研鑽不足があり、これをどう打開していくかが今後の保育の質向上の課題となっている。</p> <p>・自主研修として「発達を通して環境を考える」は保育補助職員の採用により、環境部分に少しずつ変化が見られ手作りなどの温かみのある環境になりつつあったが、一時的なもので終わってしまった。</p> <p>・重大事故につながる事故が発生し、職員にも危機管理能力を高めたいと願っているが、事故が起きてから危機感を募らせることも多く、一人一人のヒヤリハットを保育に取り入れ、予防を徹底させたいとの思いだけで終わってしまった。</p> <p>同時に運動能力の発達を促す環境づくりは全職員で令和2年度に取り組みたいと考えている。</p>

法人の基本方針	概要	事業内容	報告
	<p>② 保護者への積極的な子育て支援</p> <p>③ 保育環境の整備</p> <p>④ 環境を守る取り組み</p> <p>⑤ 行政に向けたタイムリーな情報発信</p>	<p>★ 親育ちを考える。(子どもが人として育つために)</p> <p>子育て支援を実施するとともに子どもの「子育て」の大切さを知らせる</p> <p>子育てに大切なこと・職員による親子触れあい遊びの提唱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 祝日保育の実施</li> <li>◇ 保育環境の見直し</li> <li>◇ 子どもの育ちと教育・保育のねらい・環境構成</li> <li>◇ 職員配置の充実・・・0歳児 3対1に1名加配 1歳児 5対1</li> <li>◇ 土地購入にあたって園庭・駐車場整備の計画</li> <li>◇ 保育環境の充実・・・緑地化、</li> </ul> <p>★ 社会状況・経営状況を1人ひとり把握し、職員全員ができることから始める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 節電対策・・・電力会社情報資料の有効活用と職員伝達</li> <li>◇ ゴミの省力化</li> </ul> <p>職員・3歳以上児に「自分のポケットにハンカチを」運動実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 園児たちに資源の大切さを知らせる</li> <li>水の出し出っ放し・漏水等の確認</li> <li>◇ 家庭での空き缶回収</li> </ul> <p>★責任者は運営状況をHPや閲覧しやすいように提示する。</p> <p>★地域・利用者・就職希望者に向けた教育・保育内容が見える園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように伝え方を工夫する。</li> <li>◇ 地域貢献度のPR化</li> </ul> <p>★教育・保育のプロセスを保護者に伝える (園の考えや保育教諭の思い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 教育・保育の様子をよりイメージしやすく伝える</li> <li>◇ エピソード記録に基づき、ボード・ホームページ・クラス便り・行事・教育・保育の取り組み発表・園内掲示利用して伝える</li> <li>◇ 正規・非常勤・パート職員も含めて教育・保育の記録(1日の振り返り)の取り方の研修</li> </ul>	<p>・園の基本姿勢が親との愛着関係を基本にしていることから、保護者に対して愛着関係について充分に説明する必要があるが、今は、入園時重要事項説明会のみとなっている。伝え方を考えていきたいと思う。</p>
2. 職員の確保・育成	① 職員の働きやすい環境づくり、待遇改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 4月に行う県保連・浜松民間園長会主催の合同就職説明会の有効利用を行う</li> <li>◇ 法人全体、職員全体で、積極的な新規採用活動を実施する。</li> <li>◇ 職員の給与改定による処遇改善を進める。</li> <li>◇ 責任を明確した役割分担</li> <li>◇ 正規職員・パート職員が自己発揮できる職場づくり</li> <li>◇ 有給休暇を取りやすい人事配置を行う。</li> <li>◇ 結婚・育児のしやすい職場環境の構築</li> <li>◇ 全職員に休憩がとれるように人事配置をする</li> </ul>	<p>・中間層(4年から6年の職員)が退職していく傾向にある。何が原因で退職するのかその原因を詳しく確かめる必要がある。</p> <p>原因として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給料の低さ</li> <li>・研修の多さ</li> <li>・土曜日の休日等</li> </ul>

法人の基本方針	概要	内容	
	<p>② 計画的な研修</p> <p>③ 採用関係等対外的にタイムリーな情報発信</p>	<p>★「選ばれるこども園」をめざした人材育成をする。園内研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 実行・実践を確実に行う自己評価分析</li> <li>◇ 食育を家庭とともに取り組む・楽しくマナーを身につける</li> <li>◇ 保育環境を考える研修・・・年2回</li> <li>◇ 正規職員・パート職員がともに同じ研修に参加 (正規・パートとの区別なく全員が研修に参加ができるよう配慮)</li> <li>◇ 処遇改善Ⅰ・Ⅱを生かしたキャリアパス実施の研修充実計画</li> <li>◇ 職員間での情報を共有する。</li> </ul> <p>★就職希望者に向けた教育・保育内容が見える園</p> <p>ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように伝え方保育をわかりやすく工夫する。</p> <p>採用者にわかりやすく求人情報提供をする。</p> <p>園見学を参加しやすくする</p>	<p>・自己チェックから自己評価に変更。</p> <p>「自分を客観的にみる」ことから「他者の見方」「教頭、主幹の見方」「園長の見方」と整理し、自分自身をとらえなおす方向にもっていく</p> <p>試験的一年とした。</p> <p>・求職者はHPをよく見て問い合わせがあり、HPを一新して大変良かったと思う。</p>
3. 地域への貢献	<p>① 地域貢献活動の充実</p> <p>② 地域に対するタイムリーに情報発信</p> <p>③ 環境を守る取り組み</p>	<p>★ 親子ひろばのプログラムの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 手作り離乳食とおやつと試食会</li> <li>◇ ベビーマッサージ・マタニティーカフェ・・・子育てに大切なこと。妊産婦と助産師及び育児相談</li> <li>◇ 子育て中の親と職員の交流会(マザースクエア)</li> <li>◇ 親子触れあい遊びクラブ 1歳～2歳</li> </ul> <p>ふれ愛遊びの充実化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 保育参加・・・子どもとの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらおう。園の保育内容を見て、感じてもらう。</li> <li>◇ 地域ボランティアの活用とこども園 教育・保育の情報発信をする</li> </ul> <p>★地域・利用者に向けた教育・保育内容が見える園</p> <p>ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように保育の伝え方を工夫する。</p> <p>★教育・保育のプロセスを今後利用しようする人にわかりやすく伝える</p> <p>(園の考えや保育教諭の思い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 教育・保育の様子をよりイメージしやすく伝える</li> <li>◇ エピソード記録に基づきホームページ等・教育・保育の取り組み発表・園内掲示利用して伝える</li> </ul> <p>(園の考えや保育教諭の思い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子育てボランティアの活用 ・親子広場での育児相談</li> <li>◇ 待機児童保護者及び将来保育園・こども園に預けたい保護者に情報提供。保護者の悩みの共有・支援</li> </ul>	<p>・ベビーマッサージやふれ愛遊びが集まった母親同士楽しくコミュニケーションがとれるようにお茶会・手作りおやつ作りなどを実施。</p> <p>後半新型コロナウイルスの関係上活動が中止としたため次年度に引き続き実施予定とする。</p> <p>・マザースクエアに関しては育児休業明けの職員が復帰した時点での再開をと考えていたが、職員不足のため実施できなかった。</p> <p>・待機児童を持つ保護者や当園へ入園を希望する保護者等に園選びのポイントなどを伝えた結果見学者には大</p>

	組み		変好評であった。
4. 法人、基盤強化	<p>① 経営の把握と無駄の排除</p> <p>② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営</p>	<p>★予算は現状を想定しながらバランスよく考え立案をし、健全なことも園運営を行う。</p> <p>事前調査をしっかりと行い、計画的に予算編成をする</p> <p>★責任者は職員に運営状況を丁寧に説明する</p> <p>◇ 区の情報を確認しながら環境の変化に対応</p> <p>◇ 園長会・近隣園と情報交換及び情報共有</p>	<p>・保育補助採用することで働きやすさ・仕事量の減らすことを実施。</p> <p>年度当初、人件費等が増になることを伝えたが、職員の意識改革の重要性も必要であることを痛感する。令和2年度にはより一層「働き方改革」に全職員で取り組む方針である。</p> <p>「西側駐車場・園庭工事」等には設計変更に伴う支出がでたことも職員に伝える。</p>

4月からの在園児総人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～3月
在園児数	163人	163人	163人	166人	166人	167人	170人

職員数 3月現在

園長	教頭	主幹保育 教諭	副主幹 教諭	保育教諭 正規	保育教諭 非常勤	保育 補助	栄養士	調理員	事務員	用務員	育児休業	合計
1	1	2		14	9	5	3	2	1	1	3	42

※非常勤 保育教諭の中に保育補助で採用し、時間8時間設定で3日働いてくれる人が2人いることから2人で1人と数えている乳児担当  
重大事故発生

- (ア) ジャングルジムからの転落……大事には至らなかったが救急車で病院に搬送
- (イ) 雲梯からの落下……両手を離し落下骨折
- (ウ) 樹木のベンチ式柵からの落下……お別れ遠足日に母親の作った弁当がうれしくて友達に自慢をしてベンチから落下左腕骨折

苦情

・入園面接時に園長説明と面接保護者との説明内容の受け取り方相違で苦情が発生。